

目的 第37回大会において、ボディ・シェル平面展用物をモデル化し、これを描かせるプログラムをつくり、体型寸法を入力することによって、再現性のある個人の密着型被服原型の製図を行うことができることを発表した。今回は、より人体に適合した個人の密着型被服原型を求めため、モデル化の方法と、体型寸法の計測法の改良を行なったのでその詳細について報告する。

方法 ①、モデル化の方法の改良点は、肩部分及びアームホール部分と脇点部分である。肩先点は、バストポイントから肩線の中心点までの長さを入力値に加えて、肩線の中心点を求める。次に、その肩線の中心点と、ショルダーネックポイントと、肩線の長さから肩先点を仮に決め、次いで、肩ダーツ角を求めて回転させて、肩先点を求める。アームホール曲線は、前回発表したN式・P式を利用し、そのN値・P値は仮定した。脇点は、バストポイントから脇点までの長さを入力値に加えて、その長さと脇線の長さから脇点を決める。②、体型寸法の計測法の改良点は、姿勢の変化に影響されにくいように各計測値を計測できる細目計測具と、人体に沿って矩形を形成しながら計測できる矩形計測具を試作して計測した。③、作図した個人の密着型被服原型から、個人の密着型被服を製作し、その適合性を調べた。

結果 モデル化の方法と、体型寸法の計測法を改良することによって、前回において得られた密着型被服原型よりも適合度の高い密着型被服原型を得ることができた。